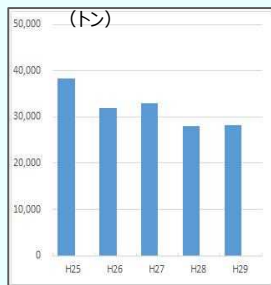


# 企業誘致の促進や新たな漁法の導入による生産量の増大

## 現状・課題

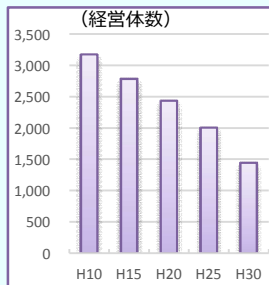
- 沿岸漁業の生産量・経営体数は減少(養殖業除く)
- 魚価の低迷や不安定な資源状況により沿岸漁業者の経営状態は厳しい

◆沿岸漁業生産量  
(養殖除く)



※農林水産統計、県資料

◆沿岸漁業経営体数  
(養殖除く)



※漁業センサス、県資料

## 目指す方向性

- 漁業への新規参入促進 (定置網への企業誘致)
- 新漁法の導入 (小型底定置網の普及)

地元合意

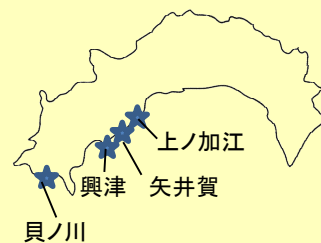
未利用漁場の活用

漁業生産量の確保・漁業経営の安定化

## 取組内容

### 定置網への企業誘致

#### ・未利用定置網漁場の利用促進



【未利用定置網漁場】

【H30～R元年度】

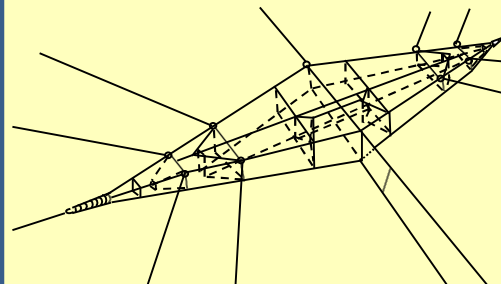
- 定置漁業調査等委託事業(9月補正)
  - ・上ノ加江、矢井賀及び興津の漁場調査実施
- 候補地への企業誘致活動
  - ・調査結果の公表、DM送付、企業訪問の実施
  - ・参入に意欲のある企業と漁協・地元のマッチング
  - 地元企業が参入の意思を表明(興津)

【R2年度～】

- 企業誘致活動の継続
  - ・参入に興味を示した企業への働きかけの継続
- 興津の定置漁場再開スケジュール(予定)
  - ・R2.4漁場計画樹立、R2.10漁業権免許、R3.10操業開始
- 操業開始に向けた支援
  - ・漁具、漁船の確保に対する支援

### 新漁法の導入

#### ・土佐湾の新たな漁法として有望な小型底定置網の普及



【小型底定置網】

※小型底定置網の概要

- ・九州(大分、福岡、長崎等)で操業(土佐湾での操業実態なし)
- ・初期投資が少額
- ・1～2人で操業可能
- ・年間水揚げ(九州):500万円～1,500万円/年

新

【R2年度～】

- 新漁法操業モデル事業(委託事業)
  - \* 委託先:高知県漁協(下ノ加江での操業を予定)
  - \* 期間:令和2年5月1日～令和3年7月31日
  - \* 内容:年間を通じた試験操業
- 未利用小型定置漁場への普及
  - ・試験操業結果(水揚げ・経費等)の漁業者への情報提供
  - ・漁業者・企業等による操業視察

※過去に小型定置網漁場として利用され、現在未利用の漁場は100(うち土佐湾に55)